

サービス等利用計画(案)

利用者氏名	猪苗代 太郎	障害支援区分	非該当	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$	利用者同意署名欄	
計画作成日	令和6年 10月 ○日	モニタリング期間(開始年月)	毎月、ただし3ヶ月(R1. ◇月～)		

利用者及びその家族の生活に対する意向 (希望する生活)	太郎さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしていた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、太郎さんの面倒を見られなくなった。太郎さんは、「お父さんに世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごととは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。 父親は「私も体が不自由になってしまい太郎の面倒はみられません。太郎には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。				
	総合的な援助の方針	グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。			
	長期目標	① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。			
	短期目標	① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。			

優先順位	解決すべき課題 主訴(本人の希望)	支援目標	達成時期	福祉サービス等	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	* 朝なかなか起きることが苦手
	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	
2	困りごととは相談したい。	生活のこと、仕事のことで困ったり、不安だったりしたことを相談できるようになる	3ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
3	楽しみをみつきたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	